

高ビリルビン血症で入院される赤ちゃんのご家族へ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院: 1病日 /	2病日 /	3～5病日 / ~ /	6病日 /	7～8病日: 退院 / ~ /
達成目標	・養育者が治療について理解できる				・養育者が育児指導の内容を理解できる
	・体温が36.8～37.5度に保たれている ・酸素飽和度が85%以上である				
			・ビリルビン値が基準値以下である		
内服		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します	
治療	・ビリルビン値が基準値以下になるまで光線療法を行います ・治療中は、光線から目を保護するためアイマスクをつけます				
注射					
検査	・採血 ・のど・皮膚・便の細菌検査	・ビリルビン採血(必要時)			
	・ミノルタ黄疸計での黄疸検査(朝・昼・夕)				
	・身長・体重・胸囲・頭囲測定	・体重測定(毎日)			
処置	・酸素飽和度モニターをつけます				・酸素飽和度モニターを外します
食事	・1日7～8回、母乳またはミルクを飲みます	・消化の具合を見ながら授乳量を増やします ・医師の許可後、面会時に直接授乳ができます			
清潔	・身体拭き、もしくは沐浴を行います				
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療について説明します ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します	・母親学級のパフレット等を用いて、育児指導を行います			・医師が、入院中の経過と退院後に気をつけて欲しい事等について説明します
その他	・保育器または赤ちゃん用ベッドで過ごします ・新生児の成長発達を促すため、子宮内にいた時の姿勢に近づけるためにポジショニングを行います ・処置や治療などによるストレスを緩和するケア(ホールディングやタッチングなど)を行います				
	・同意書は職員にお渡しください				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。